

# ようじえんだより 2022年度8月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 8月主題『祈りあう』

主題聖句：いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16～18節

☆ 0歳児：神さまや周りの人たちに守られ愛されていることを感じる。ゆったりと過ごす。暑い夏を体調を整えて過ごす。(保育者は)熱中症や感染症に配慮し、ゆったりした時間の流れを子どもと楽しむ。

☆ 1～2歳児：神さまや周りの人たちに守られ愛されていることを感じる。家族や友だちともゆったり過ごす。虫などをゆっくり見たり触ってみたりする。(保育者は)年中相や感染症に配慮し、ゆったりと過ごせるように保育を組み立てる。

☆ 3歳児：いつでもどこにいても神さまが共にいてくださることを感じ祈り合う。いつもとは違う人との関わりや環境の変化も通して、興味関心が広がる。セミの声、木陰の風の心地よさ、旬の野菜・果物の美しさなど夏ならではの経験をする。(保育者は)熱中症や感染症に留意し、水分や休息を取りながらゆっくり過ごす。

☆ 4～5歳児：神さまが私たちにくださっている平和を知り感謝し、平和を作り出す一人になれるように祈る。平和に関する話を聞いたり絵本などを見て、心を動かし、出来ることを考える。ゆったりと穏やかに落ち着いて過ごす。(保育者は)共に考え合う中、愛されていることや与えられているものに感謝することを大切にする。

Q. コロナ禍やウクライナでの戦争、そして日々の様々なニュースを見て子どもたちが生きていくこれからの社会に幸せを思い描けず何となく元気が出ません。(6歳 S夫ママ)

A. それでも希望なく生きていくわけではありません。

S夫ママさん、私も同じような気持ちになることが良くあります。これからの時代を生きていく子どもたちは先が見えない、あるいは厳しい未来だけは予見できる状況にあると思います。子どもたちに少しでも良い未来を託したいと願っている人は多くいると思いま

すが、みんな暗澹たる思いを抱えつつ、大人たちも今を生きるのに精いっぱい、というのが本当のところだと思います。

でも一方で私は希望を失ってはいません。先進国はどことも似たような課題を抱えていますが、発展途上国の子どものあのキラキラした瞳を思う時、私たちの幸せは経済的な豊かさだけではないと思うのです。正解が一つだけではない世の中であって、いかに人と一緒に生きていけるか、人の喜びを自分の喜びとすることができるかというのも生きる力であり、そこに希望を見出し子どもと関わっていきたいと思います。 園長：久保田愛策

## 年間主題『つながって～今、わたしを生きる～』

主題聖句：主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り あなたの魂を見守ってくださるように。あなたのお出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。 旧約聖書 詩編121編7～8節